



令和2年4月8日発行
進路だより
京都府立桃山高等学校
進路指導部



4月・5月の模擬試験について

新型コロナウイルス感染防止の観点から下記の模擬試験をすべて「自宅受験」の形態で行うこととします。

対象	実施予定日	模擬試験名称
3年生	4月13日(月)	3年第1回スタディサポート
	4月18日(土)	第1回全統共通テスト模試
	5月9日(土)	第1回全統記述模試
2年生	4月13日(月)	2年第1回スタディサポート
	5月9日(土)	第1回全統高2模試(記述式)

実施方法

対象模擬試験	問題配布日	自宅受験期間	答案回収日
3年スタサポ	4月8日	4月8日～5月6日	5月7日
全統共通テスト模試	4月最初の登校日	最初の登校日～5月6日	5月8日
全統記述模試	4月下旬(予定)	4月下旬～5月10日	5月11日
2年スタサポ	4月8日	4月8日～5月6日	5月7日
全統高2模試	4月下旬(予定)	4月下旬～5月17日	5月18日

※なお、3年共通テスト模試のリスニング問題については、HP上にて実施します。
実施方法、選択問題等の詳細は別紙で指示します。

模擬試験を自宅受験することについて

まず確認しておきたいことは

模擬試験は志望大学の合格可能性の判定のためだけに実施するのではない

ということです。受験生全体の中で自分の学力がどの位置にあるのかを知る目的で模擬試験は行われていますし、偏差値はその位置を数値化して示してくれるものです。しかし、模擬試験の目的はそれだけではありません。高校2年あるいは3年のこの時期において、今まで培ってきた学力について、その到達度を詳細に測り、自己分析するための材料を与えてくれるのが模擬試験です。その問題は、最新の入試動向を踏まえ、限られた時間内で限られた設問によって受験生の学力を測る目的で周到に準備された優れた教材です。その問題に触れ、自身の到達度を測るとともに、目標の到達度に達していない分野については、詳細な解説をもとに復習する機会を与えてくれるのが模擬試験です。つまり、

模擬試験は自分の学力を伸ばすための最良の教材である

ということを肝に銘じておきましょう。今回は、新型コロナウイルス感染防止という特殊事情でこのような形態での実施を余儀なくされましたが、このピンチは、考え次第では大いなるチャンスに変えられるはずです。

自宅受験の方法

では、自宅受験の方法については、以下の手順を踏んでいきましょう。

① 普段の模擬試験と同様に、定められた制限時間内に解く

自分で時間を計り、緊張感をもって解きましょう。将来、受験勉強の中で自分の志望大学の過去問題を解く必要性は必ず訪れます。その練習だと思ってください。

② 自己採点を行う

制限時間いっぱいまで頑張って答案を仕上げましょう。制限時間が過ぎたらその時点で解答をやめ、そのときまでに解答した部分で答案（提出用）はできあがりです。そして、ここからが大切です。解答用紙とは別に、『模試ノート』をあらかじめ準備して、時間内に解けなかった問題を今度は時間に関係なくすべて解きましょう。選択問題の場合、選択しなかった問題もすべて解くのです。そうして、すべての問題をやり終えた後に初めて別冊の解答・解説書を開けて自己採点を行います。もちろん点数化される部分は時間内に解いた箇所にとどめておきます。マーク式の場合は正確な自己採点ができるはずですが、記述式の場合は、できるだけ正確な自己採点をするべくしっかりと解答書を読んでください。

③ 振り返りに時間をかける

すべての問題を精一杯解き終わったあとは振り返りの時間となります。ここからはじっくりと解説書と問題を行き来しながら問題と向き合ってください。問題の主旨、設問の意図、考え方の道筋、解答の仕方（表現の方法）等々を理解したら、自分にとって足りなかった部分、再度復習すべき部分が見えてくるはずです。この作業が模擬試験の受験に際して最も重要なところとなります。残念ながら多くの生徒は解説書とじっくり向き合う時間を作れていません。これは大変勿体ないことです。

解説書は最良の家庭教師であり、学習アドバイザーである

ことを再確認しましょう。

「主体的学習者」になろう！

本来の実施形態で模擬試験が実施できないことはたいへん残念なことです。以上で述べたような学習を実行すれば、たとえ自宅受験でもその効果は大いに期待できます。そして今回の経験は、実は「主体的学習者」になるための絶好の機会になるはずです。自分の学力を上げていくために最も必要な姿勢は、

自分がいかに主体的に学習内容に迫っていけるか

なのです。そのことを実感できればこれからの学習活動をより充実させていけることでしょう。今まで受け身の学習姿勢でいたかもしれないあなたにとって、この時期が自分自身を大きく変える時となることを願っています。

